

デザイン、機能性を兼ね備えたユニットバス バス、トイレ分離で賃料アップ

アサヒ衛陶

水回り設備メーカーのアサヒ衛陶(大阪市)は省スペースでデザイン性を兼ね備えたユニットバス「PICCO LASANITARY UNIT(ピッコラサニタリーユニット)」を販売している。9月現在、2戸の新築マンションと1戸のリノベーション物件で導入されている。問い合わせ

わせも多く、今後も着工数が伸びる予定だ。ユニットバス内のト

を管理しているリビングセンター(東京都大田区)では、自社で所有する築36年の物件に同商品を導入。家賃を従来の6万5000円から1万5000円上

イル・洗面とシャワーバス間に仕切り戸を設けて空間を分離する。洗面には収納棚やコンセントを設置。シャワーパネルはターク調とマーブル調から選べる。空間を分離することで、従来の3点式ユニットバスで課題となっていた床が水でぬ

だ。当該物件の周辺は賃貸マンションやアパートが多いことから、バス、トイレ別の物件と競い合えるようなユニットバスを探し、同商品を導入した。リビングセンターでは、当該物件の入居が決まり賃料アップの実績ができれば、賃貸オーナーにも順次提案していく予定だ。



▶ユニットバス内に、収納や温水便座がついている

ントの設置ができ、ない点を解決した。東京都内で約600棟の賃貸住宅